

外国語学部

教育目標、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシー

【教育目標】

大阪大学の教育目標を受けて外国語学部では、「外国の言語とそれを基底とする文化一般について理論と実際にわたって教授研究し、国際的な活動をするために必要な広い知識と高い教養を与え、言語を通じて外国に関する深い理解を有する有為な人材を養成する」という学部の教育理念のもとで、次のような能力と学識を身につけた人材の養成を目標としています。

- 高度な言語運用能力
- 言語及びそれを基底とする世界各地の文化や社会に関する総合的かつ専門的な学識
- 国際的な活動を行うために必要な幅広い知識と高い教養
- 多様な文化が複雑に交差しあう国内外のさまざまな分野と場面において諸問題の解決に広く貢献できる能力

外国語学部では、学部教育目標を簡潔に表した「言語を通して文化を学び、文化を通して言語を学ぶ」(Culture Through Language, Language Through Culture)と「言葉を究めて世界へはばたく」(Let Language Be Your Wings To The World)をモットーに、言語運用能力のみならず世界各地の文化や社会を幅広く理解する学識を身につけた、社会に貢献できる優れた人材の育成に取り組んでいます。

【ディプロマ・ポリシー】

大阪大学のディプロマ・ポリシーを受けて外国語学部では、「外国の言語とそれを基底とする文化一般について理論と実際にわたって教授研究し、国際的な活動をするために必要な広い知識と高い教養を与え、言語を通じて外国に関する深い理解を有する有為な人材を養成する」という学部の教育理念のもとで、所定の期間在学し、大阪大学外国語学部履修規程に定める所定の単位を修得した以下の基準を満たす学生に、学士（言語・文化）の学位を授与します。

- 専攻語科目で学修した専攻語を高度に運用できる能力を身につけている
 - －聞く・読む・話す・書く、という4技能において、各専攻で定められている到達度目標に達している
- 専攻科目等の講義や演習さらに卒業論文の執筆を通して、言語とそれを基底とする世界各地の文化や社会についての総合的かつ専門的な学識を身につけている
- 専攻科目や関連科目等の学修を通して、国際的な活動ができるために必要な幅広い知識と高い教養を身につけている
- 専門教育系科目や全学共通教育系科目等での学修を通して、多様な文化が複雑に交差する国内外のさまざまな分野と場面において諸問題の解決に広く貢献できる能力を身につけている

【カリキュラム・ポリシー】

大阪大学のカリキュラム・ポリシーを受けて外国語学部では、1・2年次で身につけた専攻語と英語等の高度な言語運用能力を基盤として、3・4年次には世界各地の多様な文化に関する総合的かつ専門的な知識を身につけるようにカリキュラムを構成します。

- 全学共通教育では、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を育むことを目標に、教養教育科目、言語・情報科目、基礎セミナー、健康・スポーツ教育科目等を設置しています。
- 専門教育では、高度な言語運用能力を身につけることを目標に、体系的な4年一貫教育を実施し、1年次からネイティブスピーカーの授業を含む少人数クラスの専攻語科目を必修とします。これは外国語学部での学びの基盤となるものであり、1・2年次においては各年次5科目10単位の修得を進級の要件とします。また専攻語科目では、語学教育をより充実させ、社会的にも客観的で透明性のある教育内容にすることを目標に、4技能（聞く・読む・話す・書く）の到達度目標を専攻・年次ごとに定め、それを個々の授業のシラバスに反映させます。
- 専門教育の3・4年次においては、より高度な専攻語科目を配置するとともに、世界各地の言語と文化、社会に関する総合的かつ専門知識を深めるために多様な専攻科目（講義・演習）を開設します。
- 国際的な活動に必要な幅広い知識と高い教養を身につけるために、関連科目（学部共通科目、兼修語学、研究外国語）を提供します。
- 4年次には、4年間の言語学習及び言語を基底とする世界各地の文化・社会についての総合的かつ専門的な学識を身につけた成果として、卒業論文を執筆・提出することを必修とします。

【アドミッション・ポリシー】

大阪大学のアドミッション・ポリシーを受けて外国語学部では、特に自国と外国の言語・文化・社会に強い関心を持つ、次のような学生を受け入れます。

- さまざまな文化背景を持つ人々とコミュニケーションをとることができる能力を身につけたい人
- 世界の言語・文化・社会に関する専門的な知識を身につけたい人
- 外国語を十二分に駆使して、外国の文化や社会の研究をしたい人
- 外国の言語や文化・社会に対する理解を通じて、自国の言語や文化・社会を探求したい人
- 異文化間の対話と相互理解を深める架け橋になりたい人
- 世界的規模の諸問題を解決するために、国際的な協力を推進したい人

外国語学部での学びによって上記のような能力と知識を身につけるために必要な言語の基礎的能力と文化一般に関する基礎知識を備えているかを確認するため、

1. 一般入試においては、大学入試センター試験と個別学力検査を通して、高等学校等において履修する国語、地理歴史・公民、理科、数学、外国語に関する知識と理解度を判定します。
2. 帰国生徒特別入試と私費外国人留学生特別入試を実施し、前者は外国語と国語（小論文を含む）の筆記試験及び口頭試問、後者は日本留学試験とTOEFLの成績、英語と日本語の筆記試験及び口頭試問を通して、外国語学部での学びに必要な日本語能力と理論的思考力を身につけているかを判定します。
3. 3年次編入学試験を実施し、筆記試験（志願する専攻言語）と口述試験を通して合否判定を行います。
4. 上記の入試における英語の試験ではリスニングテストも行います（私費外国人留学生特別入試の一部を除く）。